



◎今月の表紙
えさしきんさつまい
稲瀬小学校 江刺金札米 100周年収穫祭
令和3年11月号
Vol.189

新型コロナウイルス感染症関係の情報

掲載している情報は今後変わる場合があります。最新の情報は市ホームページでご確認ください



新型コロナウイルスワクチン接種の現状をお知らせします

〇ワクチン接種希望者は早めの予約をお勧めします

市では、国が示す方針に従い11月末までに希望される皆さんがワクチン接種を受けられるよう医療従事者や関係者の協力を得ながら接種を進めてきました。

ワクチン接種率は、次の表のとおりで2回目接種まで完了した人の割合が76.16%となっています。

また、11月からは接種効率やワクチン有効利用の観点により、これまで2カ所で行ってきた集団接種会場を1カ所に集約して接種を行っています。なお12月は、県立江刺病院や総合水沢病院、一部の医療機関などで実施する見込みです。

接種を希望する人は、この機会に予約をお願いします。

■市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター（☎ 0120-40-10-63、平日午前9時～午後6時）

新型コロナワクチン接種状況（11月5日時点）

	1回目接種回数	2回目接種回数	合 計
全体（12歳以上） 104,376人	88,553（84.84%）	79,490（76.16%）	168,043
65歳以上 40,129人	37,765（94.11%）	37,465（93.36%）	75,230
12歳以上64歳以下 64,247人	50,788（79.05%）	42,025（65.41%）	92,813

〇ワクチン接種時のお願い

これまでのワクチン接種を踏まえて、改めて接種する皆さんにお願いしたい事項をまとめました。

これからワクチン接種をする人は、次の点をご確認ください。

▶接種しやすい服装で

新型コロナウイルスワクチンは腕（肩の下あたり）に接種します。肩を出しやすい服装、または脱ぎ着しやすい服装で接種会場にお越しください。

気温が低下する季節になり、服装の選択がより難しくなっています。接種当日に慌てないように、接種日の服装を事前に決めておきましょう。

▶接種前は体調を整えましょう

睡眠不足や空腹の状態では、接種後に具合が悪くなる場合があります。接種後の体調不良が発生する可能性を低くするために、接種前から規則正しい生活を心掛け、睡眠不足や空腹の状態での接種しないようお願いします。

また接種当日に体調が優れない場合は、予約日の変更をご検討ください。

〇3回目の接種について

市では、ワクチン3回目接種の体制構築に向けて準備を進めています。

3回目接種に必要な接種券は、11月下旬から接種が可能となる皆さんへ順次お届けする予定です。

コロナワクチン

接種予約サイト▶



<今月の表紙>

稲瀬小学校 江刺金札米 100周年収穫祭

10月27日、稲瀬小学校の5年生18人は、自分たちで育てたお米を調理して食べる収穫祭を行いました。毎年5年生が食育の授業で米作りをしています。今年も江刺金札米100周年を記念し、100年前の品種「陸羽132号」を栽培。自分たちで手植えし、刈り取ったお米を食べた児童たちは、満面の笑みで歴史の詰まった格別なお米を頬張りました。

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 新型コロナウイルス感染症関係の情報
- 4 【特集】百年の思い、輝く未来へ
- 12 地域づくりの輪
- 13 【グラフ】踊りの祭典2021、江刺甚句まつり
- 14 小型特殊自動車（農耕用・その他）は軽自動車税の申告を
償却資産の申告はお早めに
15 確定申告のご準備を
修学資金を貸し付けます
16 12月から除雪を開始します
17 国道397号・胆沢ダム周辺の市道が冬期通行止めに

- 18 街diary
- 20 ILC希望のひかり
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 21 秋の「叙勲」「危険業務従事者叙勲」
- 22 もっと安心 ずっとおうしゅう
はい、こちら総合相談室
- 23 子そだて広場
- 24 インフォメーション
- 28 奥州遺産



店内のヴィンテージランタンを手にする茂樹さん。「商品を買って『良かったよ』と言われるのが最高に嬉しいです」

から使える品や、県内ではここでしか買えない逸品まで幅広く取り扱っている。こだわりの、自身が実際に使ってみて良かった一押しの商品を並べていること。実際に手に取って、良さを体感できることが最大の魅力だ。「自然を楽しむ、キャンプもありですが、道具を楽しむキャンプもお気に入りの道具に囲まれたキャンプは最高ですね」と顔をほころばせる。今後の目標は「地域に愛される店舗」。茂樹さんはキャンプを楽しませる仲間たちと共に、今日も来店者を待っている。



佐々木 茂樹 さん（42歳）

＝胆沢南都田字漆町＝

商品を手にとって良さを体感してほしい

「キャンプの魅力は、非日常を楽しむこと」そう笑顔で語るのは、アウトドアショップ『WOOD STOCK』を経営する佐々木茂樹さんだ。高校生の頃にキャンプの魅力に引かれ、就職後にグッズを集めて休日にキャンプを楽しんでいた茂樹さん。「自宅の庭でキャンプをしたい」との思いから、8年前に南都田へ移住し、新居を構えた。長年のキャンプ経験を生かし、今年9月から自宅隣に『WOOD STOCK』をオープン。店内の商品は、初心者



ささき・しげき
◎昭和54年、山田町生まれ。アウトドアショップ『WOOD STOCK』代表。趣味はキャンプ、釣り、登山などアウトドア全般。妻と娘の3人家族。



百年の思い、 輝く未来へ



【写真】朝日を浴び、金色に輝く江刺金札米 〓江刺藤里〓

自然であふれる雄大な土地に
豊かな土壌が広がる奥州市江刺。
この地では、上質な「江刺牛」、
格別なおいしさの「江刺りんご」、
品質が自慢の「江刺野菜」など
地域ブランドが根付いています。
その中で最も長い歴史を持つ
ブランド米「江刺金札米」――。
先人たちが真心を込めて
育ててきた金色に輝くお米は
江刺の農業の発展と共に
長い歴史を歩んできました。
江刺金札米の誕生から百年。
地域と自然に愛されてきた
黄金に輝くその歴史を
一緒にたどっていきましょう。

【協力】岩手江刺農業協同組合、えさし郷土文化館

江刺甚句踊りにみる金札米

200年以上の歴史があるといわれている「江刺甚句踊り」。時代によって歌詞や踊りも変化していきました。現在の歌詞には、江刺が育んだ金札米の描写が込められています。

『甚句踊りの 江刺の里は

味がじまんの アリヤ米どころ——』

踊りにも米産地ならではの振り付けが含まれていて、この先も江刺甚句踊りは、金札米の歴史と共に後世へと踊り継がれていきます。



米の豊作を喜び、米俵を担いで米蔵へ運ぶ



金色に輝く稲穂が風に揺れる様子を体現

- 1 「陸羽132号」の栽培普及に努めた小澤懐徳の像（江刺・愛村公園）
- 2 昭和5年から出荷時に付けられていた金札のレプリカ
- 3 今年6月に発見された昭和初期ころに俵の中に入れていた大黒様
- 4 昭和40年に整備された現・江刺西部カントリーエレベーター
- 5 江刺金札米百周年を記念してつくられた新パッケージ。長年の歴史が詰まった高級感のあるデザイン



「アヒルも食べぬ」岩手県産米

明治末期から大正10（1921）年ごろ、中央市場での岩手県産米の評価は極めて悪いものでした。東京市場での価格も全国最下位で、「アヒルも食べぬ」と酷評する人もいたそうです。当時栽培していたコメは、米質があまり良くなく、病害・冷害にかかりやすい品種でした。そのため江刺の農家は、優秀な品種の登場を心待ちにしていたのです。

江刺金札米の起源

「江刺金札米」の歴史は大正10年までさかのぼります。この年、秋田県の農業試験場で新しいコメの品種が誕生しました。誕生したコメは病害・冷害に強く、品質や味、収穫量ともに優れていたのが特徴で、これまで栽培していたコメより優秀なものでした。この品種は後に「陸羽132号」と命名されることとなります。

江刺では江刺郡農会・小澤懐徳会長の指導の下、大正10年から栽培に着手しました。当時県内で前例がなかった各農家で作られたコメを一つにまとめて出荷する「共同販売」も導入。先人たちは、地域一丸となって米作りに真摯に向き合ったのです。

数年間にわたる努力の結果、品質の

戦前の金札米復活に向かって

昭和44（1969）年、「自主流通米制度」が施行されたことで、価格設定が政府ではなく、政府に指定を受けた集荷業者と卸売業者の交渉により決定されるようになりました。

「良いお米は高く売れる——」。江刺の農家は、戦前の江刺金札米を復活させるべく奮起します。

昭和48（1973）年には全国初の「冬眠密着包装」施設を造り、パック米の販売を開始。封入時に米と炭酸ガスを一緒にしてコメを冬眠状態にすることで、精米したての味と香りを長持ちできるようにしました。

良い米を安定的に収穫できるようになりました。また、県内が凶作だった年も、江刺米は他地域と比較して減収がなく、豊凶の差がないことも確認されました。

全国一の評価を受けた江刺米

その後、江刺米は全国へと出荷されます。大正13（1924）年、江刺産陸羽132号が各地の俵米品評会で優勝を独占。東北や北陸地方で「江刺」の名が知れ渡るようになりました。

各地で高い評価を受けたことが自信につながり、翌年2月には、過去に酷評を受けた東京市場へ試食用の見本米を送付。その結果、「申し分なき出来栄なり」と最高の評価を受けました。その後、江刺産米は当時の日本最高価格となる一石（150kg）当たり41円50銭で販売され、良質米産地「江刺」の名を中央市場にとどろかせました。

「赤札」から「金札」へ

江刺米が日本一の評価を受けたことで、全国からの岩手県産米全体の評価も向上しました。その後江刺では、「品質の良い岩手江刺米」と一目で分かるよう、「赤札」を付けて出荷するようになります。市場では「江刺赤札米」と呼ばれ、全国でも有名になりました。ところが、江刺米の名声が高まるに

つれて、類似の偽札を付ける地方米が続出。江刺米の人気に乗乗る動きが全国で見られるようになったのです。

その対策として、昭和5（1930）年、岩手県穀物検査所の許可を得て「赤札」から「金札」へ変更。こうして「江刺金札米」が誕生しました。当時の金札米は、出荷する貨車の中の1俵に金粉を塗った大黒様の銅像が入っており、これが取引業者から評判となりました。

第二次世界大戦と米作りへの情熱

昭和16（1941）年、第二次世界大戦が勃発すると、翌年から「食糧管理法」が制定されました。これは戦時下で食糧確保が重要視されることから、国が米の管理や取り扱いをする内容でした。これが原因で米の自由な販売が不可能となり、江刺金札米は徐々に市場から姿を消していったのです。

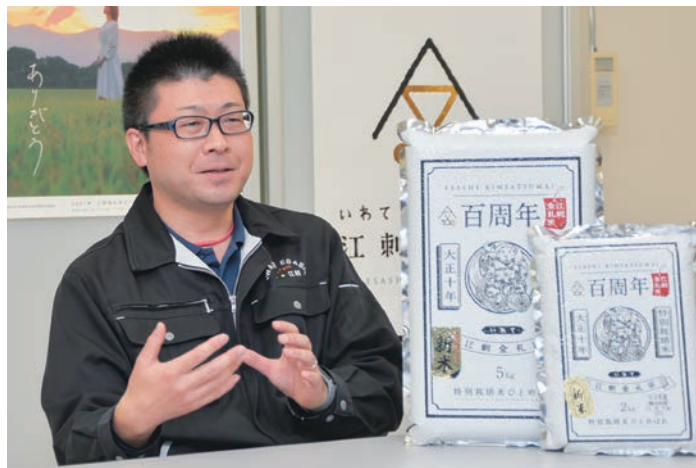
しかし、この苦しい状況下でも、江刺の人々は米作りへの情熱を途絶えさせることはありませんでした。機械の導入による農業の効率化に努めたほか、当時全国で3番目の規模を誇るカントリーエレベーターの建設にも着手。

江刺の人々は「より質の良い、よりおいしい米作り」をモットーに、消費者においておいしいコメを届けるための努力を続けました。

半分以下にして栽培されたものをいい、丹精込めて作られた江刺金札米は、現在も全国で高い評価を得ています。

また、収穫されたお米をその土地で精米する「産地精米」が行われています。荷受けから精米、出荷までの一連の流れを同じ施設内で行っていることで、鮮度が保たれ、風味が豊かです。

長年にわたる先人の惜しみない情熱と、農家の人たちの努力の積み重ねにより、現在の江刺金札米があります。奥州の地で育まれ、たくさんの方が詰まった江刺金札米は、安全・安心でおいしい、全国に誇るブランド米です。皆さんに愛され、育まれ、この先も途絶えることなく続いていくでしょう。



Key Parson Interview I

今年の金札米は特別な思いで——百年の歴史に感謝

岩手江刺農業協同組合

営農推進部 流通販売課 課長

あきら
及川 央 さん (41) =江刺・藤里出身=

私が在籍する流通販売課では、通信販売部門、玄米を精米し店頭で並ぶ商品の形にする中央精米センター、その商品を販売する金札米販売センター、産直江刺ふるさと市場があり、約50人の職員が江刺金札米をはじめとした商品をさまざまな方法でお客さまにお届けしています。

金札米販売センターでは江刺金札米をメインに扱っており、市内のスーパリーなどの店舗や、地元企業の社員食堂への配達をしております。遠方のお客様からは電話やインターネットでご注文をお受けしていますし、最近では市のふるさと納税の返礼品としてもご好評をいただいています。お客さまと直接お話をさせていただくことも多く、いただいたご意見を基により良い商品づくりへとフィードバックしています。

江刺金札米は江刺産の「特別栽培米ひとめぼれ」です。「特別栽培」とは、農薬と化学肥料を県が定める基準の半分以下で栽培するもので、平成16年より江刺地域全域で取り組んでいます。江刺のように、全域で特別栽培に取り組んでいる産地は全国でもまれで、注目を集めています。安全・安心なお米を消費者の皆さまにお届けするため、地域が一丸となって取り組んでおり、確かな信頼につながっています。

今年、江刺金札米が百周年を迎えた

江刺稲瀬の住民団体「稲瀬農業の未来を考える会」は、金札米百周年を記念して江刺金札米の起源となった品種「陸羽132号」の田植えと稲刈りを稲瀬学童農園水田で行いました。今回のイベントは、地域産業である農業を未来につなげようと企画されたもので、種もみは、今年3月に陸羽132号を栽培する一関市の市民団体「里山ジャパン」から稲瀬振興会に寄贈されたものが使用されました。

田植えは5月10日に行われ、関係者約50人はそれぞれのペースで陸羽132号の苗を大事に手植えました。9月3日に行われた稲刈りでは、参加者約30人は晴天の下、丁寧に稲を刈り取りました。稲刈りに参加した今年米寿の小原高子さんは、「穂は大きく重みがあって、出来栄えがとても良かったです。この先も金札米がずっと続いてほしい」と笑顔で話しました。

また同地区の稲瀬小学校では、毎年5年生が「お米の学習」で田植え体験と稲刈り体験を行っています。新型コロナウイルス感染症対策で田植えは同日に時間をずらして行われ、稲刈りは、



誕生から百周年を記念して 陸羽132号を田植え・収穫

9月10日に児童と保護者の約30人で行われました。

当日は慎重に鎌を使いながら協力して稲を刈り取り、稲を積み上げて立派な「ホニオ」（ホンニヨ）を完成させました。



丁寧に束ねられる稲



手植えをする参加者



参加した関係者と稲瀬地区の米寿の皆さん



稲瀬学童農園水田を管理している

廣野 勝司 さん (77) =江刺稲瀬字広岡=

この田んぼは、「稲瀬の財産」として代々引き継がれている田んぼです。昭和50年ごろから管理に携わり、毎年稲瀬小学校の子どもたちにお米の授業をしています。

今年教えた子どもたちはとても素直で、丁寧に作業した分、例年と比較して収穫が多かったです。毎年活動に協力いただいている地域の皆さんに感謝していますし、「地域の伝統」として子どもたちにお米の大切さを伝える授業は継続していきたいと思います。



保護者と協力して作業を進める稲瀬小の児童たち

江刺金札米 100 周年記念プロジェクト・イベントのお知らせ

「江刺金札米学会」シンポジウム

- 日時 11月19日(土)午前10時～午後5時
- 場所 ホテルニュー江刺新館E ase
- 定員 50人(会場)、オンラインも併催
- 申し込み方法 メールかファクスで申し込む
- 参加料 無料
- 問い合わせ・申込先 J A 江刺米穀課 (☎ 35-7352、☎ 35-0210)
- ※オンライン参加希望者は☎ BD0004@pref.iwate.jp (県南広域振興局農政部)

「江刺金札米 100 周年記念博物館」

- 100周年を記念して常設コーナーの内容を充実させ、これまでの江刺金札米の歩みを振り返ります。
- 開催期間 11月20日(土)～4年3月27日(日)
- 場所 えさし郷土文化館常設展示コーナー
- 展示内容 金札米の歴史の紹介や、生産を支えた農業機械、米俵の復刻など
- 入館料 300円
- 問い合わせ えさし郷土文化館 (☎ 34-1582)

平成8年に東京都渋谷区代々木で、ごはん専門店「おひつ膳 田んぼ」を開業しました。当店では「炊き立てのうまい白飯」にこだわり、代々木本店のほか表参道店、西新宿店、11月1日からは三軒茶屋店がオープンし、現在4店舗を運営しています。江刺金札米との出会いは、開業から3年目のこと。仕入れていたお米屋さんが持ってきたのがきっかけでした。実際に食べてみると、食べてきたお米の中でも断トツでおいしかったのを今でも覚えています。またごはん専門店の経営者として、「生産者が違っているのに、安定しておいしい」のが不思議でならなかったですね。その謎を説明するべ

Key Parson Interview II

江刺金札米は東京でも高評価店の人気商品です

長年江刺金札米を東京のごはん専門店で提供
(有)田んぼ 代表取締役

岡野 真吾 さん(56) =東京都渋谷区=

くJJA江刺に直談判し、平成18年に初めて江刺を訪れました。そこで地域一丸で米作りをする江刺の情熱や人柄に触れ、とても感動しました。提供するお米は全国の品種3〜4種類を1年単位で出していますが、江刺金札米は20年以上提供している人気商品です。また、店頭でそれらのお米を同じ値段で販売しています。が、名産地のお米よりも圧倒的に江刺金札米が人気でよく売れています。炊いたお米は粒が寄りそっているのに、まとったりつぶれることがないです。また冷めた時が一番味に差が出るんですが、江刺金札米はおいしさが長続きますね。

未だに「江刺金札米」を超えるお米に出会っていません。東京での評価もかなり高いです。記念すべき百周年——。江刺金札米は奥州、岩手、日本の宝です。産地にとっても魅力あるお米であり続けて、この先も長く作り続けていただきたいですね。



金色に輝く稲穂を背景に笑顔を見せる真吾さん

金札米を提供してお客様をおもてなし



ホテルニュー江刺 支配人

高橋 敏文 さん(56) =江刺玉里字矢ノ目沢=

昭和61年の開業以来、ホテルで提供しているお米は全て江刺金札米を使用しています。その中でも朝食は主に宿泊される市外の方が食べられるので、「ご飯がとてもおいしい」とうれいしい声をいただいています。利用される方へ食事を提供する立場としても、やはり地元産のお米が一番ですね。

今後は感染症対策をした上で、食を通じて地域の皆さんと一緒に楽しめるイベントの企画をしていきたいです。これからも地元産の食材を使って、お客さまをおもてなししたいと思います。

この先もおいしい金札米を作り続けたい



岩手江刺農業協同組合 稲作部会 部会長

高橋 貞信 さん(65) =江刺愛宕字林=

平成15年に専業農家になりました。米作りに携わるようになってから通算すると40年以上が経ちます。気候や土壌に恵まれている江刺では、特別栽培で安心安全な米作りを地域一丸で取り組んでいます。

先人の皆さんの努力や研究心があって今日の「江刺金札米」があります。日本一の評価を受けたお米が100年もの長い期間引き継がれてきたように、この先も次の世代につなげて行きたいと思います。「味がよく、品質がいい、安心安全なお米」を品質を落とさず、これからも作り続けていきたいですね。

Voice —市民に聞く江刺金札米100周年—

自分たちで育てたお米は特別なおいしさ



市立稲瀬小学校 5年生

鈴木 遥海 さん(11)

お米についての学習を通し、「どうしてその米ができたか」や「米ができるまでの作業」を知ることができました。自分も、田んぼの手伝いをして実践してみたくなりました。江刺金札米は100年の歴史があることや、今まで江刺金札米を育ててきた人たちは、たくさん努力を重ねてきたことを学びました。

収穫祭で自分たちが育てたお米を食べて、おいしさに驚きました。もちもちして甘みがありとてもおいしかったです。5年生全員で団結して取り組んだ稲作の体験学習はとていい思い出となりました。

地域に密着した農業で江刺を支える役割に



岩手江刺農業協同組合 青年部

及川 貴士 さん(31) =江刺玉里字矢ノ目沢=

就農して今年で5年目になりました。実家が農家で、お米のほかに牛も飼育しています。

江刺では稲わらを牛に食べさせ、牛の堆肥を田んぼに還元する「循環型農業」が代々続いています。循環させることで環境に優しいだけでなく、土壌も育ち、おいしいお米ができる仕組みです。

「100周年」は本当にすごいこと。ブランドを作り、全国で有名になるまでたくさんの努力があったと思います。若手生産者として、歴史ある米作りを引き継ぎ、この先の江刺の農業を支えていきたいです。

輝く未来へ繋ぐもの——

長年愛され続けてきた江刺金札米「地域に誇れるお米」を未来に繋ぐために

江刺金札米誕生から百周年を迎えた今年。江刺の先人たちは前身である「陸羽132号」を丁寧に育て上げ、全国最下位だったお米の評価を数年で「日本一のお米」にしました。そこにたどり着くまでには、たくさんの方の努力と苦労があったはず。今の江刺金札米があるのは、「百年以上も続く『米作りに対する熱い情熱』というバトンが、途絶えることなく今日まで繋がれてきたから」と取材を通して強く感じる事ができました。

皆さんが普段何気なく食べているお米。市内で生活していると、当たり前のように感じてしまいがちですが、この特集をきっかけに「全国でも高い評価を受けているブランド米」ということを、より感じるもらえるとうれしいです。

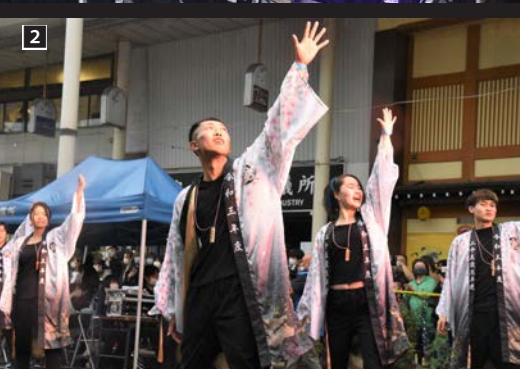
記念すべき百周年ですが、ここがゴールではありません。この先も変わらず『米作りに対する熱い情熱』を次の世代へと引き継ぐことで、江刺金札米の輝かしい歴史は続いていくはず。若手世代が活動の中心になるのも遠い未来ではありません。全ての世代が手を取り合い、米作りに真摯に向き合い、地域一丸となって協力することで、これからも「地域に誇れる」お米に。そして全国でもひときわ輝く「江刺金札米」になるでしょう。





踊りの祭典 2021

～我がふるさとに誇りと感謝を胸に～



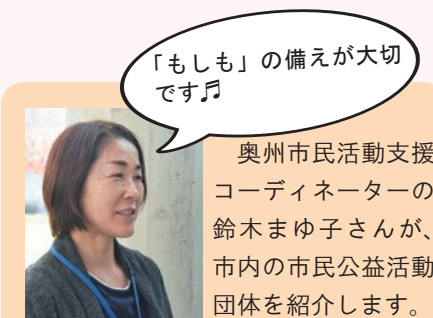
奥州 秋まつり

奥州のまちに祭りの熱気が舞い戻った——。新型コロナウイルス感染症の影響により、祭りの中止・延期を余儀なくされてきた中、10月16日に「踊りの祭典 2021」、10月23日に「第48回江刺甚句まつり」が開かれました。厄年・年祝連などが勇壮な演舞を披露。会場は熱気と歓喜に包まれました。

①色鮮やかな衣装と扇子で華麗な踊りを披露した水沢42歳厄年連「申舞伝」②水沢25歳厄年連「紐煌伝」はダイナミックな踊りで観客を魅了③④2年度水沢42歳厄年連「煌羊会」と25歳厄年連「琉子幻」も出演し祭りを盛り上げた



⑤創作演舞「風つむぎ」を披露した江刺42歳年祝連「颯悠会」⑥江刺25歳年祝連「紫彩仁」は伝統のある江刺甚句踊りを披露⑦後輩の本番に花を添えた江刺26歳年代連「結碧蓮」⑧躍動感のある踊りを披露した江刺43歳年代連「緋勇陣」



■問い合わせ

本庁地域づくり推進課 市民活動係
(江刺総合支所・☎ 34-1618)

思いをカタチに 地域づくりの輪



奥州市防災士会「絆」

奥州市防災士会「絆」は、防災士の資格を取得した会員が中心となり、災害に対する心構えや備え、災害時の行動などの普及・啓発活動を行っています。

同会発足のきっかけは、毎年のように全国各地で大規模な災害が発生している現状と東日本大震災の経験を踏まえ「官民連携した防災体制づくりが必要」と考えた市が、市内在住の防災士資格取得者に組織化を呼び掛けたことでした。防災士たちは、設立準備委員会を立ち上げ、何度も協議を重ね、平成30年に奥州市防災士会「絆」が設立されました。

防災意識の大切さ

同会は、より多くの市民に防災に対する理解と災害の特性を知ってもらおうと学習会や防災フェアなどを開催しています。学習会は、依頼に応じて振興会・町内会、各学校や社会福祉施設などで幅広く行っています。

昨年度は、県立前沢明峰支援学校の生徒や教職員を対象とした学習会を開催。「地震」



前沢明峰支援学校での学習会の様子

「水害」「火災」をテーマに、災害への備えや発災時の対応、避難の方法などを講演しました。また、けがをした場合の応急手当や傷病者の搬送方法の体験も実施。生徒たちは、学習会を通して「災害から自分の命を守る」方法、体験を通して「瞬時に適切な対応を取る」ことの大切さを学びました。

10月には、水沢メイプルを会場に2年ぶりとなる防災フェアを開催しました。同フェアでは、東日本大震災などの写真や大規模災害の救助・救出時の写真、「自分の命を守る」ための知識を身に付ける方策などのポイント展示を行いました。



災害用伝言ダイヤルを体験する参加者

展示では「川の近くや土砂災害警戒区域の近くを通る道路を避け、多少遠回りになっても安全な経路を選んで避難する」といった災害発生時における注意事項や被害に遭わない心得などのポイントを解説しました。

その他、避難所運営モデル・感染症対策コーナーでは、感染症対策に配慮した避難所の一例として、段ボールベッドやパーテーションなどを活用した運営の仕組みを紹介。イベントを通じて、平時から災害に対する防災・減災を意識し、何を備えるべきかを考えるきっかけを提供しました。



奥州市防災士会「絆」の皆さん

助けられる人から助ける人へ

災害は、いつ、どこで、どんな時に起こるか分かりません。東日本大震災から10年が経過した現在も日本各地で災害は頻発し、人々の大切な命を奪っています。

同会は、「助けられる人から助ける人へ」をキャッチフレーズに、市民の防災意識高揚と、地域防災力向上を図るため今後も活動を継続していきます。会長の千葉稔さんは「より多くの市民に同会の防災啓発活動に関心を持っていただき、災害に対する防災・減災意識を高めることで、災害に強いまちを目指していきたい」と意欲的に語りました。

確定申告のご準備を

■問い合わせ

確定申告・利用者識別番号について…水沢税務署（☎24-5111）、マイナンバーカードについて…本庁市民課マイナンバーカード推進室（☎34-2223）

スマホとマイナンバーカードで確定申告

マイナンバーカードとスマートフォンを利用して、確定申告期間中は 24 時間いつでも、申告書を国税電子申告・納税システム（イー・タックス）で簡単に作成（送信）することができます。

4 年 1 月からは、マイナポータル連携対象データの拡大や、スマートフォンのカメラ機能を利用して源泉徴収票を読み取り、確定申告書等作成コーナーへの自動反映が可能となる予定です。

イー・タックスでの申告は所得税の還付がスピーディー

確定申告には利用者識別番号が必要です

国税庁では、納税者の利便性の向上と行政手続きの効率化を図るため、電子による確定申告書の提出へ向けた施策に取り組んでいます。本人が自宅などで作成したものを イー・タックス で送信することや、申告相談会場で作成した確定申告書も、今後は イー・タックス で引き継ぐこととなり、税務行政のデジタル化が加速していきます。

● イー・タックス をご利用いただくためには「利用者識別番号（半角 16 桁の番号）」が必要となります。※申告相談会場で確定申告書を作成する人も事前に利用者識別番号が必要です

となるなどのメリットがありますので、新型コロナウイルス感染防止のためにもスマートフォンを利用した イー・タックス での確定申告にご協力ください。

～今から準備を始めよう～

スマートフォンで申告をするにはマイナンバーカード（署名用電子証明書あり）方式による申告が便利です。マイナンバーカードをまだ取得されていない人は早めの取得をお願いします。

～今から準備を始めよう～

利用者識別番号の取得には次の方法があります（一例）。取得していない人は、早めの取得をお願いします。

- 国税庁ホームページ「イー・タックスの開始（変更等）届出書作成・提出コーナー」から開始届出書を作成・送信
- 税務署に行って、ＩＤ・パスワード方式の届け出を作成・送信
- 税務署に行って、書面で利用者識別番号を取得

国税庁ホームページ▶



市内の医療・介護施設で働きたい人へ 修学資金を貸し付けます

市ホームページ▼

市内の医療・介護施設で介護福祉士や看護師として働くことを志す人に、資格取得のための修学に関する費用を貸し付けます。詳しくは市ホームページをご覧ください。



■対象職種

保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士、社会福祉士、介護福祉士

■総貸与人数 1 人

■対象者 次の全てに当てはまる人

- ① 資格・免許取得のため、4 年度に入学予定の人または 4 年 4 月以降に在学する学生
- ② 卒業後、市内の医療施設や介護施設などで医療介護従事者として勤務する意志がある人
- ③ 類似する奨学金の貸し付けを受けていない人

■対象となる学校

上記対象職種を養成する日本の大学、短期大学、大学院、専門または各種学校、養成所など

■貸付金額の上限額

- ▶ 保健師・助産師・看護師・社会福祉士
…入学一時金 100 万円、月額貸付金 7 万円
- ▶ 准看護師・歯科衛生士・介護福祉士
…入学一時金 70 万円、月額貸付金 5 万円

■申請方法

申請先で配布する申請書（市ホームページにも掲載）と必要書類を提出 ※郵送可、持参の場合は平日のみ

■申請期間 4 年 1 月 11 日（四）～ 28 日（金）

■問い合わせ・申請先

- ▶ 保健師・助産師・看護師・准看護師・歯科衛生士
…本庁健康増進課（☎ 34-2901）
- ▶ 社会福祉士・介護福祉士
…本庁長寿社会課（☎ 34-2196）

小型特殊自動車（農耕用・その他）は 軽自動車税の申告を

■問い合わせ

本庁税務課市民税係（☎34-2173）

乗用装置がある小型特殊自動車は、公道を走行しない場合でも軽自動車税の申告が必要です（固定資産税の償却資産の申告対象にはなりません）。乗用装置がある小型特殊自動車を取得したときは、必ず軽自動車税の申告をしてナンバープレートの交付を受けてください。

対象	①農耕用…農耕トラクター、コンバイン、田植機、農耕用トレーラなど ※乗用装置があり最高速度が時速 35km 未満のもの ※市で登録が必要なトレーラ … 農耕用トラクターにけん引されるもの ②その他…フォークリフト、ショベルローダ、タイヤローラ、ロードローラなど ※乗用装置があり最高速度が時速 15km 以下、車両の長さ 4.7m 以下、車両の幅 1.7m 以下、車両の高さ 2.8m 以下の全てを満たすもの ①と②に該当しない車両のうち事業用として所有するものは、固定資産税（償却資産）の申告が必要です
税額（年額）	①農耕用…2,000 円 ②その他…5,900 円 ※毎年 4 月 1 日現在の所有者に対して課税
申告に必要なもの	◎販売店から購入した場合 所有者・使用者の印鑑、販売証明書（販売店の押印、車台番号、車名の記載があるもの） ◎販売店からの購入以外の場合 譲り受けなどの場合は、譲渡証明書（前所有者の押印、車台番号、いつ、誰が、誰に、どの車両を譲り渡すかの記載があるもの）
申告窓口	本庁税務課市民税係または各総合支所税担当グループ

償却資産の申告はお早めに

■問い合わせ・連絡先

本庁税務課家屋係（☎34-2376）

事業を営む企業や個人（以下、事業者）には、その事業のために所有する構築物、機械、備品などの償却資産（自動車は大型特殊自動車のみ対象）に対し、固定資産税が課税されます。事業者は、毎年 1 月 1 日現在において償却資産が市内に所在している場合は申告が必要です。申告が必要と思われる人には、12 月中旬までに申告用紙などを送付しますので、必要事項を記入し、期限までに提出してください。なお、新たに申告する人や申告用紙が届かない人はご連絡ください。

■提出期限 4 年 1 月 31 日（四）

■申告受け付け会場・日時

会場	日時	
本庁税務課家屋係	随時受け付けます	
江刺総合支所 市民生活グループ窓口	4 年 1 月 6 日（四）	午前 9 時～午後 4 時
前沢総合支所 1 階待合ホール特設窓口	4 年 1 月 7 日（金）	
胆沢総合支所 1 階待合ホール特設窓口	4 年 1 月 11 日（四）	午前 9 時～正午
衣川総合支所 市民福祉グループ窓口	4 年 1 月 5 日（四）	

※各総合支所では、上記以外の開庁日も受け付けますが、できるだけ上記日時での申告をお願いします

家屋の取り壊しや未登記家屋 を取得した際はご連絡を

家屋の固定資産税は、1 月 1 日現在の所有者に課税しています。年内に取り壊した家屋は、次年度から課税しませんので、速やかに連絡をお願いします。後日職員が確認に行きます。

また、未登記家屋の売買、相続などで権利が異動した場合は、未登記家屋所有者名義変更届の提出が必要です。

⑤雪置き場を開設します

■開設期間

12月1日(木)から4年3月20日(木)まで

■受け入れ対象

市内の道路や住宅、事業所などからの排雪を対象とします。

■開設場所

- 胆沢川桜づつみ広場駐車場（水沢佐倉河字向川原地内）
- ごくよう江刺会館北側市有地（江刺岩谷堂字反町地内）
- 前沢いきいきスポーツランド北側駐車場（前沢字阿部館地内）
- 旧南都田地区センター（胆沢南都田字本木地内）
- 旧衣川総合支所跡地ほか市有地（衣川古戸地内）

■搬入車両

中型車両（4トンダンプトラック）までを原則とします。業者による搬入も受け入れますが、大型車で搬入する場合は他の利用者との混雑、事故などを防止するため、あらかじめ本庁維持管理課へ連絡し、指定した場所や時間での搬入をお願いします。

■利用上の注意事項

次の注意事項を守って利用してください。

- 利用者は雪搬入の際には十分な安全対策を講じてください
- 子どもを立ち入らせない（遊ばせない）ように注意してください
- ごみや砂利を混入させないでください
- 市外から雪が持ち込まれているのを見つけたら、本庁維持管理課へ連絡してください
- 円滑に利用するため、雪を置く際は奥から順に置いてください



国道 397 号・胆沢ダム周辺の市道が冬期通行止めに

国道 397 号（胆沢若柳^{しとまへ}尿前～秋田県境）と、胆沢ダム周辺の市道・林道が冬期間の通行止めになります。これに伴い、馬留広場、奥州湖眺望台、石刈広場、おろせ広場も冬期間は閉鎖します。

■通行止め路線（路線位置は右図参照）・通行止め期間

▶国道 397 号

尿前～平七沢…11月15日(木)～4年4月中旬まで(予定)

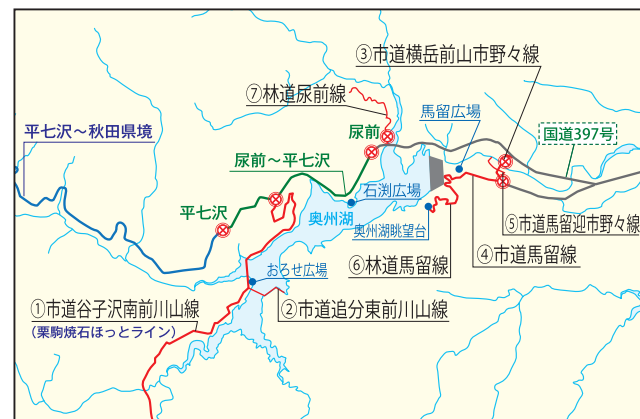
平七沢～秋田県境…4年5月中旬まで（予定）

▶市道・林道

①市道谷子沢^{やこさわ}南前川山線（栗駒焼石^{うまどめ}ほっとライン）、
②市道追分^{おいわけ}東前川山線、③市道横岳^{よこだけ}前山市野々線、
④市道馬留^{うまどめ}線、⑤市道馬留迎^{うまどめむかえ}市野々線、⑥林道馬留^{うまどめ}線、⑦林道尿前^{うまどめ}線…11月15日(木)正午～4年4月下旬まで（予定）

※通行止め期間は積雪などの状況により変更する場合があります。市道の通行止め解除の時期は、4年4月に市ホームページなどでお知らせします

■通行止め路線図



■問い合わせ

▶国道 397 号…県南広域振興局土木部（☎ 22-2881）

▶市道・林道…本庁維持管理課管理係（江刺総合支所・☎ 34-2494）

12 月から除雪を開始します

市は12月から3月までの間、積雪がおおむね10センチ以上の時に除雪車で市道の除雪を行います。除雪は、市民の皆さんが安全に道路を通行できるようにすることはもちろん、救急・消防の円滑な活動のためにも欠かせない作業です。効率よく作業を進めるために、各家庭や地域でも次のとおりご協力をお願いします。

各家庭へのお願い

①宅地の出入り口の除雪は各家庭で

道路の除雪によって宅地の出入り口が雪でふさがれた場合や、屋根から道路へ雪が落ちた場合は、各家庭で雪の除去をお願いします。除雪車は短時間で広範囲の除雪を行わなければならないため、皆さまのご協力をお願いします。また、宅地内の雪を道路に出すと道幅が狭くなったり、道路がでこぼこになったりして危険です。雪置き場に排雪するなど、道路に雪や氷を出さないようにしてください。



②除雪スペースの確保を

道路に植木鉢などが置いてあると、作業の妨げや除雪車の故障の原因になるため撤去をお願いします。また、路上駐車は作業の妨げになるだけでなく、事故の原因にもなりますので、本来の駐車場所に駐車してください。道路沿いの樹木は積雪で枝が折れるなどして作業の妨げになることがあります。所有者は、道路にはみ出ている樹木の剪定や伐採をお願いします。



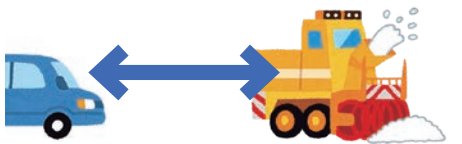
③除雪の優先順位へご理解を

生活基盤道路のうち、主要幹線道路、バス路線、通学路を優先して除雪を行います。その他の道路は優先道路の終了後に作業しますので、ご理解をお願いします。



④除雪車とは十分な距離をとりましょう

除雪車に近寄ると大変危険です。近くを通る時は十分な距離をとってください。除雪車は低速で走行します。冬期間の自動車運転は、時間に余裕を持ちましょう。また、道路状況により、右側通行で作業する場合もありますのでご注意ください。



除雪に関する問い合わせ先

- 国道 4 号…岩手河川国道事務所水沢国道維持出張所（☎ 24-2187）
- 県道および国道（107・343・397・456 号）…県南広域振興局土木部（☎ 22-2881）
- 市道…本庁維持管理課道路河川担当（江刺総合支所・☎ 34-2495）、各総合支所地域支援グループ

★除雪に関する要望は、行政区長や町内会長など、地区の代表者を通じてお願いします

9月29日

健康づくりなどを支援
包括連携協定締結

市 政



市は、明治安田生命保険相互会社岩手南支社（村尾和義支社長）と地方創生の推進に関する包括連携協定を締結しました。連携内容は「地域の安全安心・健康づくり」「出会い子育て」など。今後、スポーツイベントや各種講座などでの事業連携を図っていきます。同社から市に対する「私の地元応援募金」の寄付贈呈も併せて行われました。

10月1日

スポーツを通じて
地域活性化につなげる

市 政



市は、デサントジャパン(株)（小川典利大代表取締役社長）と地方創生の推進に関する包括連携協定を締結しました。デサントアパレル(株)水沢工場の立地が縁で実現したもので、今後スポーツ振興やシティープロモーション推進などで連携を図っていきます。小川社長は「子どもがスポーツの良さを感じる活動をしたい」と決意を語りました。

10月1日

小野寺トリヨさん 100 歳
(胆沢小山)

百 寿



小山（^{おえなしだ}狼ヶ志田）で生まれ、故・慶一さんと結婚。3男4女をもうけ、現在は孫8人、ひ孫8人、やしやご3人に恵まれています。60年ほど前に夫を亡くしてからは、農業を営みながら一人で7人の子供を育て上げたトリヨさん。贈呈式では「皆にお祝いしてもらってうれしい」と家族への感謝を述べられました。

10月1日～15日

農家と飲食店を応援する
イベント第1弾

イ ベ ント

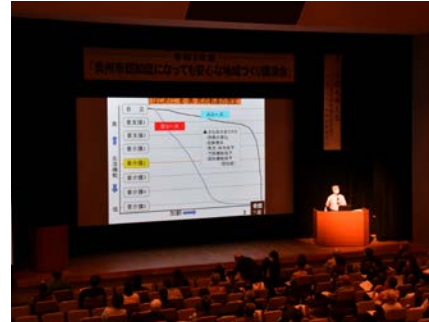


市は、市内で生産された農作物が市内でもっと消費される仕組みづくりを検討するため、「農家と飲食店を応援するイベント」第1弾を開催しました。市内17店舗の飲食店と14軒の農家が新たに連携。それぞれの店舗で、市内の農家が育てた農産物を取り入れた料理を提供しました。

10月2日

認知症の理解を深め
「老い」について考える

イ ベ ント



市は、「認知症になっても安心な地域づくり講演会」を市文化会館（Zホール）で開きました。講師を務めた老い支度クリエイターの石黒秀喜氏が、自身の認知症対策などを講話。参加者は認知症の理解を深め、「人生の最終段階を豊かに暮らすために事前準備が必要」という石黒氏の言葉にうなずいていました。

10月6日

満開の桜のトンネル目指し
環境を整備

イ ベ ント



市では、水源地域保全活動の一環として、胆沢ダムの関係団体や地元の建設会社などと「桜の回廊の環境づくり」を実施しました。これまではダム上流の「22世紀ブナの森づくり」活動がメインでしたが、今回からはダム下流の「桜の回廊」の維持管理を中心に実施。参加者は小雨が降る中、草刈り作業に精を出しました。

10月8日～12月24日

南部鉄器ゴジラが
来訪者をお出迎え

イ ベ ント



J R水沢江刺駅にある南岩手交流プラザでは、(株)及富が手掛けた南部鉄器ゴジラが期間限定で公開されています。南部鉄器ゴジラは元年にゴジラ誕生65周年などをきっかけに発表されもの。(株)及富の菊地章専務は「夢は形にできるという思いを特にも子どもたちに知ってほしい」と笑顔で話しました。

10月11日

高校生の指導で
中学生が稲刈り体験

イ ベ ント



岩谷堂高校と江刺第一中学校による稲刈りが同高の実習田で行われました。同高の生物生産系列で農業を選択した16人が指導し、中学生は、刈り取った稲を束ねてホニオに掛ける作業を体験。収穫したコメは「江刺金札米」の基準を満たす方法で栽培されたもので、地域農業への関心を深める機会となりました。

10月13日

百周年を迎えた金札米
全国へ出荷

イ ベ ント



J A江刺（小川節男組合長）の江刺金札米の出発式がJ A中央精米センターで行われました。関係者約50人が参加し、100周年を迎えた金札米の出荷を喜びました。初日は約40トが愛知方面へ向け出発。テープカットが行われた後、江刺産「ひとめぼれ」は全国の消費者の元へ届けられました。

10月20日

フリーズドフラワーで
暮らしに華やぎを

イ ベ ント



愛宕地域振興会（胆沢）では、地域住民を対象にプリザーブドフラワー講座を開催しました。フラワーセラピストの小林満枝氏を講師に、生花の一番美しい時期に色素を抜き取り、特殊加工を施したバラなどのプリザーブドフラワーを使いフラワーボックスを製作。参加者は、思い思いのアレンジで自分だけの小さな花畑を作り上げました。

10月24日

2年ぶりのインディアン旗
全力プレーで熱狂

イ ベ ント



第63回インディアン旗野球大会（水沢青年会議所主催）が、前沢いきいきスポーツランド野球場で開催されました。今年は市内17チームが参加。新型コロナウイルス感染症の影響で例年より規模は縮小されたものの、参加した児童・生徒たちは、競技をする楽しさと協力する大切さを改めて実感していました。

10月26日

工藤忠市さん 100 歳
(水沢太日通り)

百 寿



水沢大手町で父・金次郎さん、母・トミさんの長男として生まれ、28歳のときフミさんと結婚。息子2人、娘1人、孫3人、ひ孫3人に恵まれています。60歳まで呉服屋に勤務。野菜づくりや陶芸など趣味の多い忠市さんは、70歳のときに、ねんりんピックのグラウンドゴルフで日本一に輝いたことが誇りです。

We support the **ilc**

希望の ひかり

第96回

としても議論の内容を注視してI・L・C実現に向けた取り組みを推進していきます。

市I・L・C情報発信の紹介

市では、I・L・C実現の機運醸成を図り、地元からの情報発信強化の取り組みとして、水沢駅通りの街路灯へ掲出しているI・L・Cバナーフラッグ

有識者会議で最新情報を共有

10月14日と18日に、文部科学省の『I・L・Cに関する有識者会議（第2期第2回と第3回）』が開催されました。

今年6月に「I・L・C準備研究所提案書」と「I・L・C計画に関する主な課題について」が公表されたことを受け、有識者会議が再開。これまでに指摘されているI・L・Cの課題の進捗など、専門的見地からフォローアップの議論が行われました。今回は研究者との意見交換を中心に、最新情報の整理や共有がされました。

有識者会議は今後も開催され、国内のI・L・Cに係る議論が深まっていくことから、市



と水沢江刺駅南岩手交流プラザ内のI・L・C展示コーナーを新調しました。

水沢駅通り街路灯のI・L・Cバナーフラッグは、表と裏で色の基調が異なるデザインを採用しており、色鮮やかにI・L・C実現に向けた情報発信をしています。また、水沢江刺駅南岩手交流プラザ内のI・L・C展示コーナーでは、I・L・C紹介パンフレットの内容を拡大したパネルなどを見やすいように配置しました。

駅は日常で地域の皆さんが利用することはもちろんのこと、旅行者の玄関口でもあることから、休憩や時間調整に利用される人たちの過ごしやすさにも配慮しました。

水沢駅付近を通るときや水沢江刺駅を利用するときは、ぜひご覧ください。

【市ホームページ】

【I・L・C紹介動画】

叙 勲

秋の「叙勲」「危険業務従事者叙勲」―荣誉に喜びの声

顕著な功績を挙げた人などに贈られる秋の叙勲と、警察官など危険な職務に長年従事した人に贈られる危険業務従事者叙勲の受章者が発表されました。市内からは、合わせて10人がその荣誉に輝きました。受章おめでとうございます。



瑞宝単光章
(統計調査功労)
阿部 良男さん(79)
江刺重染寺



瑞宝単光章
(伝統工芸業務功労)
梅原 新吉さん(79)
江刺栄町



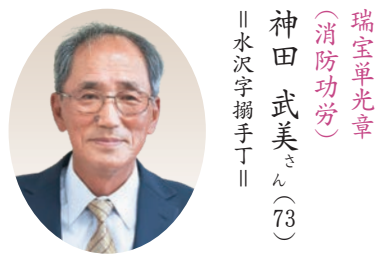
瑞宝単光章
(郵政業務功労)
立野 稔さん(66)
前沢白山字小林



瑞宝単光章
(消防功労)
菊池 永喜さん(74)
前沢字里



瑞宝単光章
(消防功労)
吉田 民男さん(78)
衣川古戸



瑞宝単光章
(消防功労)
神田 武美さん(73)
水沢字搦手丁



瑞宝単光章
(消防功労)
梅原 久司さん(74)
江刺田原字宿ノ平



瑞宝単光章
(消防功労)
千葉 稔さん(67)
水沢字川原小路



旭日単光章
(農業振興功労)
小沢 隆一さん(73)
江刺愛宕字三日町



瑞宝双光章
(地方自治功労)
藤原 健一さん(72)
水沢神明町

おうしゅう 羅針盤

木枯らしに、冬の訪れを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしですか。

10月16日に水沢駅通りで「踊りの祭典2021」が、また、23日にはえさし藤原の郷で「江刺甚句まつり」が開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大により演舞を披露する機会も少なくなっていた中で、市内の厄年連や年祝連などが出演し、華やかに、力強く舞い踊る姿を見せてくれました。出演団体の皆さん、また運営に関わった関係者の皆さん、市民に元氣と明るい話題を届けていただき、ありがとうございます。

10月6日、「地域企業×岩手大学×奥州連携フォーラム2021」を開催しました。岩手大学とは、平成18年に産業振興分野での相互友好協力協定を締結して以来、地元の

企業とも協力し、産学官連携の取り組みを進めています。今後もさらに関係機関との連携を密にし、技術の向上や販路拡大などの支援に取り組んでまいります。

10月1日、江刺梁川地区の自家用有償旅客運送「梁川TAXI」やなたつくん」が発式に出席しました。事業導入にあたりご尽力いただいた梁川振興会、また実際の運営・運行の主体となる「梁川地区内交通の会」の皆さまに感謝申し上げます。今回の事例をモデルに、今後、他地区においても地域の事情に配慮しながら、「地区内交通」の構築を進めてまいります。

同日、デサントジャパン㈱と地方創生推進に係る地域包括協定を締結しました。同社とはふるさと納税の返礼品として、胆沢のデサントアパレル(株)水沢工場で生産された「水沢ダウン」を採用するなどご縁がありますが、今後も、カヌー競技事業などのスポーツ振興、青少年育成などに連携して取り組んでまいります。

奥州市長 小沢昌記

■学校支援地域本部事業って？

学校や子どもたちの学校生活を地域のボランティアがサポートする事業です。地域のボランティアがサポートすることにより、子どもたちの学校生活がより充実します。また、地域のボランティアにとっても社会で学んできたことを生かす機会にもなっています。

■事業を実施している学校

市内 24 校で事業を実施しています。地域のボランティアに多く参加いただけるよう、中学校区ごとに活動しています。

- 水沢中、水沢小、佐倉河小
- 東水沢中、常盤小、羽田小
- 水沢南中、水沢南小、真城小、姉体小、黒石小
- 江刺第一中、岩谷堂小、江刺愛宕小、田原小、大田代小、稲瀬小
- 前沢中、前沢小

- 胆沢中、胆沢第一小、南都田小、若柳小、胆沢愛宕小

■ボランティア活動の例 ※学校によって内容は異なります

- 授業の補助（裁縫、調理実習、習字など）
- 校外活動の見守り（まち探検、自転車教室など）
- 読み聞かせ ●登下校の見守り
- 図書室などの校内装飾 など



市ホームページでも活動の様子を紹介しています



※ボランティアは随時募集しています。参加したい人は、下記までご連絡ください

■問い合わせ・申込先

本庁生涯学習スポーツ課生涯学習係（江刺総合支所・☎ 34-2497）

子ども喜ぶ
人気メニュー

110

「野菜くず」が、おいしいだしに変身！
『ベジブロスのもち麦野菜スープ』



レシピ紹介：水沢南小学校栄養教諭

材料（4人分）

ダイコン …… 1 / 10 本
ニンジン …… 1 / 3 本
キャベツ …… 2 枚
タマネギ …… 1 / 3 個
もち麦 …… 20 g
固形スープの素 …… 1 個
塩 …… 少々
こしょう …… 少々
水 …… 1 ㍲

作り方

- ①始めにベジブロス（野菜のだし汁）を作る。ダイコン、ニンジンのヘタ、皮、キャベツの芯、タマネギの皮を鍋に入れ、1㍲の水を加え、弱火で20～30分煮る。ポウルの上にザルを置きこす。
- ②ベジブロスを鍋に戻し、さいの目に切った野菜ともち麦を入れて煮る。
- ③野菜に火が通り、もち麦が柔らかくなり次第コンソメを入れ、塩、こしょうで味を整えて出来上がり。

過去のレシピ一覧▶



栄養士から一言

野菜や果物の皮や切れ端にも栄養とうま味が含まれているので、いつもより深みのあるおいしいスープになります。

広 告

もっと安心 ずっとおうしゅう

～みんなの輪で支える在宅医療と介護～

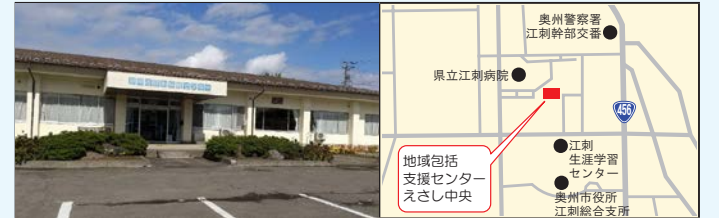
第44回 地域包括支援センターえさし中央

当施設は、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員などの資格を持つ5人の職員で担当しています。生活上の悩みや不安を伺いながら、地域の身近な相談窓口として、職員一丸となって取り組んでいます。担当地区の地区センターを会場に「健康福祉相談日」や「思い出カフェあつぷる」なども開催しています。「お茶っこの会・よさってくらぶ」の立ち上げ支援なども行っていますので、お気軽にお声掛けください。



■問い合わせ＝市在宅医療介護連携拠点（市地域包括支援センター内・☎ 34-2906）

高齢者に関する
ワンストップ総合相談窓口
市内8カ所の地域包括支援
センターを紹介します！
（3 / 8カ所目）



地域包括支援センターえさし中央	
担当地区	江刺（岩谷堂・玉里・米里・梁川・広瀬）
住 所	江刺西大通り4番11-3号（江刺保健センター内）
電話番号	34-4826
開 所 日	月～金（祝・年末年始休み）
開所時間	午前8時半～午後5時半

はい、
こちら

総合相談室
（☎34-2915、FAX24-1991）

消費生活相談	前沢総合支所 市民福祉グループ	毎週火
本庁総合相談室	月～金	9:00～17:00 （受付16:00まで）
江刺総合支所 市民生活グループ	毎週月	10:00～15:00 要予約
胆沢総合支所 市民生活グループ	毎週木	10:00～15:00 要予約
衣川総合支所 市民福祉グループ	毎週金	

電話の契約「アナログ戻し」で安くなる？

- Q. 大手電話会社のサポート会社という所から電話が来て「光電話をやめてアナログ回線に戻すと安くなる」と言われました。本当でしょうか？
- A. 確かにインターネットの光回線を解約し、光電話からアナログ電話に契約を戻す「アナログ戻し」を行うと、光回線の利用料金はかからなくなります。
- しかし最近、電話会社による工事費用に加え、アナログ戻しを仲介する事業者から高額な手数料を請求されたといった相談が増えています。
- アナログ戻しの手続きは、自分で電話会社や契約中の光回線事業者に申し込むことができるため、別

な事業者と契約する必要はありません。また、知らないうちに、毎月の料金が発生するオプション契約をしていたというケースもあります。

「安くなる」と言われても、すぐに契約せず、相手の会社名や連絡先、費用やサービス内容などをよく確認することが大切です。

光回線を解約すると、契約によっては解約違約金が発生する場合があります。また、光回線とスマートフォンなどとのセット割引を利用している場合、光回線の解約により割り引きが終了する可能性があります。そのため、慎重に判断した方が良いでしょう。



広 告



お知らせ

3年度の成人式を開催します

対象者には11月上旬に案内状を送付しました。届かない場合はご連絡ください。

■日時 4年1月9日(日)午後0時50分～

■場所 市文化会館(2ホール)

■対象 平成13年4月2日～14年4月1日生まれで、市内に住民登録している人、または市内の中学校を卒業した人

■その他 式典と記念行事への参加は新成人のみ

■問い合わせ 本庁生涯学習スポーツ課生涯学習係(江刺総合支所・☎ 34-2497)

子どもの就学費用の一部を援助します

経済的な理由で子どもを小中学校へ通わせることが困難な保護者に、就学費用の一部を援助します。

■対象 ①生活保護受給者、②生活保護を停止または廃止された人、③市民税非課税または減免世帯、④失業、病気、離婚などにより世帯の収入が減少している人、⑤生活保護に準ずると認められる人

※収入によって認定への制限あり

■支給費用 学用品費、新入学用品費、修学旅行費、給食費など

■申請方法 4年度に援助を希望する人は、年内に各学校が配布する資料に基づき学校に申請

※年度途中の申請も随時受け付け

■問い合わせ 市教育委員会事務局学校教育課学事係(江刺総合支所・☎ 34-1632)

農地中間管理事業を活用しませんか

農地中間管理事業は、平成26年度から開始した農地の貸借を行うための国の事業です。県内では、県農業公社が農地中間管理機構となっており、所有者から農地などをいったん借り受けて、さらに担い手などの農業者に貸し付けています。公的機関を通した貸借によって、契約者間のやり取りが軽減されるなど、さまざまなメリットがあります。農地の活用を考えている人は、ぜひご相談ください。

■問い合わせ 本庁農政課農政係(☎ 34-1582)、市農業委員会事務局農地係(☎ 34-1754)、各総合支所地域支援グループ

市ホームページ▶



福祉のまちづくり支援事業

地域の福祉向上を目的に活動するボランティア・NPO団体、自治会などの事業を支援します。

■申請期間 12月15日(日)まで

■助成対象 地域の福祉活動に直接使用する機器・用具、備品の購入経費

■助成額 1万～20万円

■申請方法 市社会福祉協議会各支所へ相談の上、申請する

■問い合わせ 県共同募金会(☎ 019-637-8889)

一関・盛岡間駅伝競走大会に伴う交通規制

11月23日(日)の午前8時半ごろから、選手が市内の幹線道路(国道4号や旧国道)を通過します。各所で交通規制が行われ、渋滞が予想されます。ドライバーの皆さまにはご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。コース図や選手通過時間など詳細は、岩手日報社ホームページをご覧ください。

■問い合わせ 同大会事務局(岩手日報社事業部内・☎ 019-653-4121)

岩手日報社
ホームページ▶



健診を忘れずに受けましょう

国保特定健診、長寿健診、国保30代健診、一般健診の実施期間は12月31日までとなっています。生活習慣病の予防と重症化を防ぐための健診です。生活習慣病は自覚症状がない場合も多くありますので、ぜひ健診を受けましょう。健診を受けた結果、要医療の判定を受けた人は放置せず、早めに医療機関を受診しましょう。

健診を希望する人で通知書がない場合は、ご連絡ください。

■問い合わせ 本庁健康増進課健康づくり係(☎ 34-2903)、各総

合支所健康増進担当

いわてキラリ企業みんなの就職フェア

東北経済産業局が主催するオンラインの就職フェアです。WEBサイトからお申し込みください。

■日時 11月26日(日)午後1時半～4時15分

■対象 大学などを卒業見込みの人やその保護者、既卒3年以内で就職活動中の人など

■定員 40人(先着順)

■申込期限 11月25日(日)午後1時

■問い合わせ 県中小企業団体中央会(☎ 019-624-1363)

いわてキラリ企業
就職ナビサイト▶



いちサポ おうしゅうルーム

働くことに踏み出そうとする人の就労を支援します。

■日時 12月1日(日)、15日(日)午前10時～午後3時

■場所 市民プラザ・マッセ(メイプル地下)

■対象者 15～49歳の求職者など

■問い合わせ・申込先 いちのせき若者サポートステーション(☎ 0191-48-4467)

灯油の油漏れにご注意ください



例年、暖房器具を使用する機会の多い冬季に、灯油タンクからの油漏れが多く発生しています。昨年、大雪による落雪でホームタンクのコックが開き、灯油が流出する事故も多発しました。

土壌や水路から油を除去するには、かなりの時間と労力が必要です。オイルフェンスや油吸着マットの設置などの費用は、油を流出させた人の負担となります。通報が遅れ、被害が拡大すると、負担金額も大きくなりますので、気付いたらすぐに通報しましょう。

①油漏れを防ぐために、次のことに注意しましょう

- ホームタンクやパイプの老朽化による漏れがないか点検する
- 灯油をポリタンクへ小分けする際は、その場を離れない
- 屋外ホームタンクには防油堤の設置などの油流出防止措置をする
- 燃料コックへのカバー取付などの落雪対策を行う

②油を流出させてしまった場合や油漏れを発見した場合は、速やかに次の連絡先へ通報してください

■問い合わせ・連絡先 本庁生活環境課環境係(☎ 34-2340)、各総合支所地域支援グループ、水沢消防署(☎ 24-7211)、江刺消防署(☎ 35-8119)、各分署

広 告

広 告



お知らせ

ほいくのしごと 出張相談会

保育士経験があるコーディネーターが相談に応じます。子ども同伴でも参加できます。

■日時 12月3日(金)午前10時～午後2時(予約優先)

■場所 市総合福祉センター

■対象 保育士資格があるが保育園で働いていない人など(学生可)

■相談内容 保育士として就職を考えているが働き方を迷っている、資格はあるが保育士経験が少ない、保育現場の現状を聞きたいなど

■問い合わせ・申込先 県社会福祉協議会保育士・保育所支援センター(☎019-637-4544)

催し・募集

～登録から10年の歩み～ 世界遺産「平泉」史跡探訪

世界遺産「平泉」の資産を巡り、11月20日にオープンする「平泉世界遺産ガイダンスセンター」を見学します。

■日時 11月29日(日)▶午前の部…午前9時～午後0時25分、▶午後の部…午後1時～4時25分

■集合場所 前沢ふれあいセンター

■訪問先 無量光院跡、柳之御所遺跡、平泉世界遺産ガイダンスセンターなど

■定員 各15人(先着順)

■参加料 無料

■申込期間 11月11日(金)～19日(金)

■問い合わせ・申込先 市教育委員会事務局歴史遺産課世界遺産登録推進室(☎34-1317)

菊田一夫関連作品上映会 「男の紋章」

高橋英樹、和泉雅子などが出演する「男の紋章」を上映します。

■日時 12月5日(日)午後1時半～(上映時間96分)

■上映場所 えさし郷土文化館

■定員 40人(先着順)

■観覧料 無料

■問い合わせ・申込先 菊田一夫記念館(☎35-9800)

前沢温泉「舞鶴の湯」 指定管理者の募集

前沢温泉保養交流館「舞鶴の湯」の管理・運営業務を行う指定管理者を募集します。

■指定管理期間 4年4月1日(金)～5年3月31日(金)

■応募期間 11月30日(金)午後5時まで

■応募方法 市ホームページに掲載の申請書類に記入の上、直接提出※郵送、ファクス、メールなどによる提出は不可

■問い合わせ・応募先 本庁商業観光課観光物産係(☎34-1760)

市ホームページ▶



介護予防・生活支援サポーター養成研修

■日時 12月1日(金)、7日(金)、14日(金)午前9時15分～午後0時45分(全3回、7日は午後0時15分まで)

■場所 水沢地区センター

■対象区分 ①元気応援型通所サービスの従事者、②市内に住所があり、介護予防や生活支援の活動を行う意欲がある人

■定員 16人(先着順)

■受講料 無料

■申し込み方法 住所、氏名、生年月日、電話番号、対象区分を電話、ファクス、メールで連絡

■申込期限 11月25日(金)

■問い合わせ・申込先 市地域包括支援センター(☎34-2199、FAX51-2373、✉houkatsu@city.oshu.iwate.jp)

男女共同参画川柳の募集

男女が共に協力したり、活躍したりする様子や、疑問、理想などを川柳に託してお寄せください。

■応募規定 1人3作品まで応募可。作品は自作で未発表のもの。作品は奥州市に帰属する

■応募資格 市内に居住、通勤、通学している人

■応募方法 川柳、住所、氏名、連絡先を記載し、ファクス、メール、持参のいずれかで応募

■応募期限 4年3月31日(金)

■問い合わせ・応募先 本庁地域づくり推進課市民活動係(江刺総合支所・☎34-1618、FAX35-7466、✉chiikidukuri@city.oshu.iwate.jp)

持続可能な農業のためのセミナー

■日時 12月2日(金)午後6時～

■場所 水沢地区センター

■テーマ 持続可能な農業経営の実践(ESDGs)、自然栽培など

■講師 (株)照沼 名誉会長・照沼勝弘氏(サツマイモの大規模栽培・加工場の運営)

■申込期限 11月29日(日)

■問い合わせ・申込先 本庁食農連携推進室(☎34-1587)

読書ボランティア等 研修会

子どもの心を豊かにする絵本の魅力や楽しみ方についてのお話です。どなたでもお気軽にご参加ください。

■日時 11月23日(金)午後1時半～3時半(受け付けは午後1時～)

■場所 江刺総合支所多目的ホール

■講師 絵本作家・澤口たまみ氏

■定員 70人(先着順)

■参加料 無料

■申し込み方法 氏名と連絡先を電話、ファクス、メールで連絡

■問い合わせ・申込先 本庁生涯学習スポーツ課生涯学習係(江刺総合支所・☎34-2497、FAX35-7466、✉shousupo@city.oshu.iwate.jp)

医療通訳者養成研修会

外国人住民などの受診をサポートする医療通訳者を養成する研修会です。

■日時 11月27日(日)午前9時45分～、28日(日)午前10時～

■場所 県南広域振興局奥州地区合同庁舎

■対象言語 英語、中国語、ベトナム語、タガログ語(各定員あり)

■受講料 無料※テキスト代別途

■申込期限 11月20日(金)

■問い合わせ・申込先 市国際交流協会(☎22-6111)

奥州宇宙遊学館の事業

●「親子で見る“かんきょうはかい”～人間によってもたらされた地球規模での環境破壊を知る～」

■日時 11月28日(日)午後2時半～3時半

■対象 小学生以上

■定員 10組(要申し込み)

■参加料 無料※入館料別途

●「心地よい香りのキャンドルでアロマムーンポットを作ろう」

■日時 12月10日(金)午前10時～11時半

■定員 20人(要申し込み)

■参加料 1,500円(材料代など)

●全事業共通

■場所・問い合わせ・申込先 奥州宇宙遊学館(☎24-2020)

※本紙に掲載している記事については、新型コロナウイルス感染症対策などのため、中止や延期、内容が変更となる場合があります。市が主催・共催する事業の最新情報は、市ホームページでお知らせします。

広 告

広 告



1



2



3

1 山頂から西側には焼石連峰と奥州市一帯が広がる。山頂まで遊歩道が整備され、気軽に自然を親しむことができる
2 浸食から取り残された岩盤、モナドノッ

ク（残丘）が多く見られ、自然の造形美を造り出している
3 山頂にある球形の建造物は、国土交通省のレーダ雨量観測所



奥州遺産

―ときを越え

受け継がれるもの―

第134回

物見山（種山ヶ原）

（国指定名勝）

Ⅱ 江刺米里字大畑Ⅱ

奥州市、住田町、遠野市、一関市にまたがる種山高原のほぼ中央に位置する物見山。標高は約870m。山頂は展望がよく、北は岩手山や早池峰の連山、東に五葉山、南に室根山が望める。そして西には、焼石連峰と奥羽山脈のなだらかな山並み、その麓にある広大な北上盆地を一望でき、雄大な自然景観を満喫することができる。

平成17（2005）年には、日本を代表する作家である宮沢賢治が、理想の大地として名付けた「イーハトーブ」を構成する場所の一つとして、鞍掛山（滝沢市）や釜淵の滝（花巻市）などとともに国指定名勝イーハトーブの風景地に指定されている。

数多くの賢治の作品の舞台となったこの地には、初夏に咲くレンゲツツジを始めとした木々が大地を彩り、夜空には無数の星がきらめく。雄大な風景に魅了された多くの人々が、現在も自然の風を求めて訪れる。

広 告